

あいさい 通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

今年 は 鳥 年



1月21日（土）に愛西市教育委員会主催の探鳥会が、24日（火）に日本野鳥の会・愛知県支部主催の定期探鳥会が、愛西市の木曽三川公園で開催されました。

極寒の季節でしたが、これらの探鳥会に参加して驚いたことは、当地には、猛禽類が6種類（オオタカ、ノスリ、ミサゴ、チュウヒ、トビ、ハヤブサ）も生息していて、2時間余りの間に観察できたことです。特に、ハヤブサ（隼）が高速で空を駆け巡る姿はとても優雅でしたし、

ミサゴ（鶚）が魚を捕える姿を見ることができました。時には、このオスプレイ（鶚）とファルコン（隼）とが空中戦をする姿が見られるそうです。

また、木曽川や鵜戸川にたくさんいる鳥は、カモ類だけでも何種類もいて、大きな群れを形成しています。その中に黒いカモのようなオオバン（写真）がいます。オオバンはツル目クイナ科の小さなツルの仲間であり、当地にもたくさん来ています。カモと違って、嘴が尖っていて足が細く長く、水かきがないため泳ぎが少し下手な鳥です。オオバンは全国で増えているそうです。

24日の調査では、日本野鳥の会が使用している野鳥チェックリストで55種類の鳥が確認され、代表者の方が、これほど多い種類の鳥が確認できる探鳥会は珍しいと言ってみえました。観察中には、鳥類だけでなく、ヌートリアやタヌキも出てきました。当地は木曽三川の大川が流れ、周囲に水田や蓮根田が広がり、豊かな自然が保持されているため、たくさんの動植物が生き、その生態系の頂点にいる猛禽類がたくさん生息できる環境が整っているようです。これからも、愛西市の農業が発展し、豊かな自然環境が維持され、野鳥の楽園であることが望めます。なお、世間では、鳥インフルエンザが問題視されていますが、幸い今回の観察で弱った鳥や死骸は見ませんでした。

3月は渡りの季節が始まります。カモ類やチドリ類など北国へ帰る冬鳥、ツバメなど南国からやってくる夏鳥がたくさん当地を經由して行きます。時には珍しい鳥も見られるので、たまには、上を向いて歩きましょう。

第3回あいさいフェスティバル



1月29日（日）、愛西市文化会館において『第3回あいさいフェスティバル』が開催され、1000人以上が来館されました。

大ホールのステージでは、9：15からオープニングとして尾張津島天王祭に登場する市江車の皆さんにより奏楽演奏があり、9：30に開演しました。記念式典の後、大ホールでは、一日かけて、天王幼稚園



の天使の歌声、愛妻カラオケ大会、あいさいさん音頭の披露、佐織西中学校の演奏、二人組ユニット“やゆ fish”の民謡ショー（写真）旭堂鱗林さんの講談などがあり、最後に、お楽しみ抽選会（写真）がありました。

“やゆ fish”の民謡ショーでは会場も一緒になって盛り上がり、旭堂鱗林さんの講談では終始笑いが続き、みなさん楽しい一日を過ごされていました。一方、ロビー周辺（ホワイエ）では、呈茶コーナーやフードコーナーが設置され、物産販売コーナーの他、愛西市内にある高校の活動、愛西市消防団の活動案内などがありました。さらに、3階大研修室では、佐織工業高校のミニ鉄道体験乗車会（写真）があり、子供達の歓声が上がっていました。

そして、3階第2会議室では、「ジュニア・シニア検定講習会」（写真）が開催され、参加された方々は熱心に受講していました。2階第1会議室では、あいさいボランティアガイドの会が中心となって「愛西市の観光名所展」を開催しました。会場でアンケート（3頁参照）を実施したため、例年になく大勢の来館者に入室していただきました。ご参加ありがとうございました。

勝幡オコワ祭 コモ編み



1月21日（土）午後から勝幡地域防災コミュニティセンターで勝幡神社のオコワ祭で使われる“コモ”作りが行われ、昔ながらの伝統技法で藁綱を手際よく編んでコモを作っていました。国の無形民俗文化財に選択されている今年のオコワ祭は3月12日（日）に勝幡町で開催されます。

祭礼では、蒸した餅米（オコワ：強飯）を樽に入れ、樽をコモに入れて勝幡神社に奉納します。その後、神社の石にぶつけて樽を割り、餅状になったオコワを奪

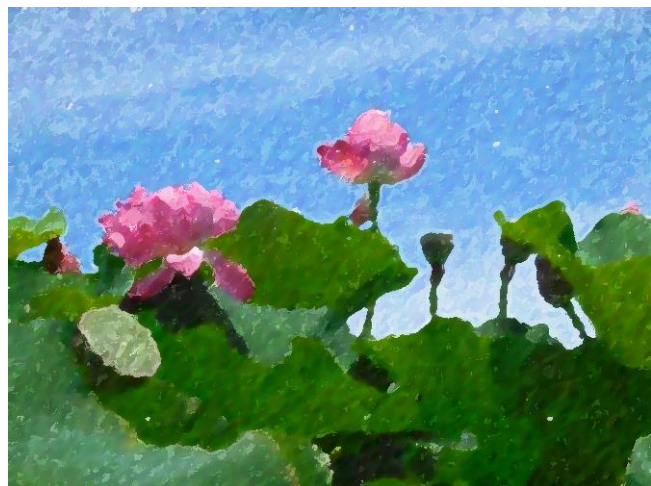
い合って食べ、また、樽の破片を縁起物として持ち帰ります。このオコワを食べると一年間無病息災でいられると信じられており、毎年大勢の人が集まります。

ASK総選挙 結果

あいさいボランティアガイドの会では、「愛西市に観光地はあるの？緊急アンケート」を実施しました。題して『愛西（AS）市の観光（K）資源』総選挙です。1月29日（日）の『第3回あいさいフェスティバル』でのアンケート回答数は130枚、また、愛西市教育委員会が主催している文化財講座「あいさい物語」の受講者にも協力いただき、24枚の回答を得ました。

今回のアンケートで、未記入が多少出ると想定はしていましたが、未記入率 60%という結果は予想外でした。多くの人にとって、愛西市には観光地として想定できる場所がないと考えていると推定されます。その一方で、蓮田の四季を強調される方がいたり、蓮田をロータスワールドと表現する方がいたり、愛西市の美しい自然を高く評価する人が多いということがわかりました。

このアンケートを実施するという企画は、昨年大ヒットしたアニメ映画『君の名は。』で、飛騨駅（実際は飛騨古川駅）や飛騨市図書館（実際は飛騨市役所新館）など日常一般の建物・風景が舞台モデルとなり、それらを巡る聖地巡礼という旅が流行していることから、愛西市ではどうかと考えていたため、この未記入率は残念な結果です。が、それが現実かもしれません。以下、結果を報告します。



1) 愛西市にある観光資源の知名度

まず、アンケートには、愛西市観光協会が発行している郷土ガイド本『あいさい物語』の目次を一部改訂して観光資源リストを作成し、知っているものに（○）を付けてもらいました（設問1）。また、回答者が知っていてリストにない場合は、個別に記載していただきました（設問2）。この中で、**知名度が60%以上あった観光資源の上位は下記6項目でした。**

- あいさいさん（70%）
- 道の駅「立田ふれあいの里」（68%）
- 尾張津島天王祭（66%）
- 名鉄津島線・尾西線（66%）
- レンコン（63%）
- 立田大橋（61%）

逆に、知名度が7%以下と低かった観光資源は、下記5項目でした。

- 稲葉真弓墓碑「ひかりへの旅」、 専随寺（白山赤芽桜）、 梶島（筏場）、
- 釈迦堂、 増穿鵜戸川碑

さらに、リストに無い観光資源として2人以上から指摘があったのは、下記3項目でした。

- 桜の名所（相ノ川、八開江西、船頭平）、 市江車車田跡の碑、 筆塚



あいさいさん

＜裏面に続く＞

2) 愛西市にある観光資源で観光地として有望な場所（設問3）

この設問で得られた回答は多岐に及ぶため、下記のようなカテゴリーでまとめてみました。無記入の回答（60%）も多く、多くの人にとって愛西市の観光資源が観光地として想定できないと推定されます。記載のあった回答は、カテゴリー順位で下記となりました。

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ①木曽川（木曽川、観光船、船頭平閘門、立田大橋などを含む） | 33票 |
| ②佐屋路（水鶏塚、佐屋代官所跡、三里の渡し跡などを含む） | 25票 |
| ③花蓮田（森川花はす田、木曽川からの蓮田風景、蓮根などを含む） | 22票 |
| ④勝幡城址（勝幡城址、織田信長像を含む） | 11票 |
| ⑤道の駅「立田ふれあいの里」 | 11票 |
| ⑥尾張津島天王祭市江車行事 | 9票 |

3) あなたが薦める愛西市の場所（設問4）

設問3と同様、得られた回答が多岐に及ぶため、下記のようなカテゴリーでまとめました。なお、設問3と同様、無記入の回答（52%）も多くありました。記載のあった回答も設問3に準じ、下記となりました。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ①木曽川（のどかな自然、観光船、船頭平閘門、などを含む） | 23票 |
| ②道の駅「立田ふれあいの里」 | 11票 |
| ③花蓮田（森川花はす田、蓮見の会、などを含む） | 10票 |
| ④佐屋路（水鶏塚、三里の渡し跡などを含む） | 6票 |
| ⑤勝幡城址（勝幡城址、織田信長像を含む） | 6票 |
| ⑥尾張津島天王祭市江車行事 | 4票 |



これらの結果は、これからの愛西市における観光施策の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

愛西市新春行事

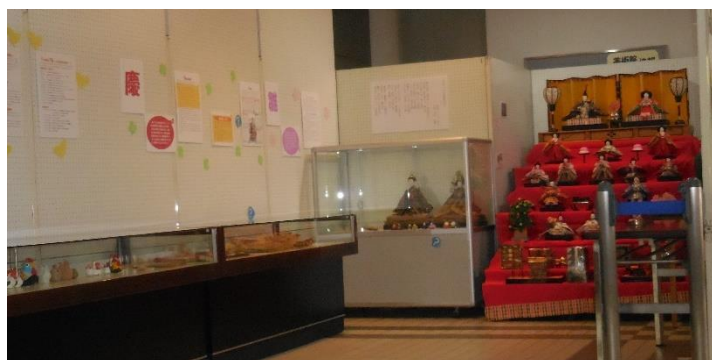
今年は厳冬となって山陰地方で豪雪の被害が出ていますが、暦の上では春、愛西市各地で新春の祭礼や展示会が開催されています。

二子町定納の白山神社では、2月12日（日）15時頃から、氏子の元服した若者による餅まきが実施されました。今年は乾燥していたせいもあり、境内の落ち葉などのゴミを大量に浴びせかけられながらもたくさんの参加者が我先に餅を拾っていました（写真：定納のオビシヤ、別名ゴミカケ祭）。



また、西條町の勝軍延命地蔵堂でも、2月19日（日）16時頃から勝軍延命地蔵堂の餅投げがありました。

2月26日（日）14時頃からは、津島市の津島神社で烏呼神事が、19時頃からは開扉祭（通称：おみと祭）があり、開扉祭で使用される大松明のミニチュアが愛西市文化会館ロビーなどに祭直前まで展示されています。さらに、勝幡町の勝幡神社では、オコワ祭が3月12日（日）に開催されます。



この季節、愛知県博物館協会の加盟施設では、おひなさまスタンプラリーが開催されています。県内施設の内、3ヵ所以上の展示を巡ると景品が貰えるそうで、愛西市の佐織公民館でも、2月4日（土）～3月12日（土）、「ひなまつり・運気をとり込む！玩具展」を開催しており、雛人形の他、鳥に関わる土鈴や七福神などの縁起物などが展示されています（左写真）。

また、八開郷土資料室（八開庁舎）では、2月16日（木）～2月28日（火）に、2年前に実施された平成26年度の工業団地造成工事に伴う南河田町の八竜遺跡発掘調査で見つかった代表的な遺構写真や遺物（S字状口縁台付土器など）数点が陳列されています（右写真）。

相ノ川桜まつり ライトアップ

3月25日（土）・26日（日）、4月1日（土）・2日（日）、千引町の相ノ川沿いにある桜並木で、勝幡小学校区有志が主催する相ノ川桜まつりが予定されており、18時～22時には桜並木のライトアップなどがあります。

～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- 2月25日（土） あいさいジュニア・シニア検定（於：文化会館、10時～）
海部歴史研究会講演会『徳川の平和を考える』
（於：佐織公民館、14時～）
- 26日（日） 烏呼神事（於：津島市の津島神社、14時頃～）
開扉祭（於：津島市の津島神社、19時頃～）
- 3月12日（日） オコワ祭（於：勝幡町の勝幡神社、9時半頃～）
- 25日（土） 木曽川観光船運航開始（～11月19日（日））
- 25日（土）・26日（日） 相ノ川桜まつり（於：千引町の相ノ川）
- 4月 1日（土） 愛西市商工会 桜まつり（於：立田会場、八開会場）
- 2日（日） やとみ春まつり（於：弥富市総合社会教育センター、9時～）

木曽川観光船 運行開始



愛西市にある木曽川は自然豊かな風景が美しく、木曽川観光船に乗船すると水面からの風情を楽しめます。平成29年度も、3月25日（土）より土・日・祝日に木曽川観光船の定期運行が開始され、チラシも配布されています。観光船は完全予約制で、3月6日より予約受付が開始されますが、毎年桜の季節、新緑の季節は予約が殺到しますので、乗船を希望される方は、お早めに愛西市観光協会まで電話（0567-55-9993）で申し込み下さい。

V G 3月 定例会 の 予 定

集合時間：3月19日（日）9時～ 集合場所：愛西市文化会館
内 容：2017年度の事業計画について

◇2月定例会（2月8日（水）9～16時、27人出席）

1）今月の定例会はバス研修旅行（詳細は次号）を兼ねました。

忍者で有名な伊賀上野は、愛西市と街道や松尾芭蕉などで歴史的つながりがありますが、研修旅行として現地のボランティアガイドさんに引率していただきました。伊賀市の地理的・歴史的背景など詳しく説明を受け、芭蕉関係の観光施設を中心に視察しましたが、一般の観光では気付かない伊賀上野の魅力をたくさん教えていただき、とても参考になりました。

2）2月後半以降に開催予定の催事について案内しました。

3）あいさいフェスティバルの協力参加について、意見交換しました。課題となるような意見は特にはありませんでしたが、フェスティバルも3年目を迎え、開催意義の見直しが必要な時期かもしれません。

4）その他、会員継続案内などを事務連絡しました。



あいさいさん